



導入前に知っておきたい基本知識

Power Automate無償版と有償版でできること

はじめに

今、慢性的なIT人材不足を解決するための手段として、業務プロセスを自動化するサービスが注目を集めています。

業務自動化を行う手段の一つとして人気のサービスが、Microsoft社が提供する“Power Automate”です。Power Automateは、基本的にライセンスを購入しなければ利用することができませんが、一部無償で利用できるプランもあります。

本資料では、Power Automateの基本情報から無償版と有償版の違いまで、導入前に知っておきたいライセンスの種類について解説しています。

「自動化に興味があるけど、導入コストはあまりかけられない」「無償版で利用できる範囲を知りたい」など、Power Automateの利用方法についてお悩みの方におすすです。

CONTENTS

Power Automateの基本知識	2
Power Automateとは?	3
Power Automate導入のメリット	4
Power Automateの主要ライセンス	5
無償版と有償版の違い	6
Power Automate無償版とは?	7
Power Automate無償版でできること	8
Power Automate有償版とは?	9
Power Automate有償版でできること	10
自社で使うなら無償版?有償版?	11
「Power Automateで何をしたいか」を整理しよう	12
1.作成したフローを全社で使用したいなら	13
2.大量のデータや外部のデータソースを使用したいなら	14
3.ユーザーの利用状況を把握・管理したいなら	15
有償版を利用した方が良い場合	16
無償版を導入する前に	17

Power Automate有償版でできること

データやフローの連携／管理／共有など

有償版には、ユーザーが端末からサインアウトしていても自動実行が可能な“無人デスクトップフロー”や、タスクの最適な自動化を提案してくれる“タスクマイニング”など様々な機能があり、Microsoft 365以外の外部サービスと連携したり、作成したフローを他者と共有したりすることができます。主な違いは以下のとおりです。

機能	無償版	有償版
無人デスクトップフロー	－	○
外部サービスとの連携	－	○
作成したフローの共有	－	○
データの保存と管理	－	○
プロセスの視覚化と分析	－	○
タスクマイニング	－	○
AI Builder	－	○

3.ユーザーの利用状況を把握・管理したいなら

A. 無償版、または有償版

Power Automateを含むPower Platformサービスを統合的に管理できる無償ツール“Power Platform管理センター”でも、ガバナンスの要件を十分満たすと言えるでしょう。

一方で、有償版のライセンスを利用することで、有志にて作成・更新されている高機能な管理環境“Center of Excellence Starter Kit”（以下CoEスターターキット）を導入することも可能です。

CoEスターターキットは、Power Platform管理センターが持つ機能に加えて、ユーザーのベストプラクティスを共有し、スキルアップを促進する機能が備えられています。また、“アプリカタログ”“社内トレーニングイベント管理”など、アプリ作成者や社内コミュニティ育成を支援するためのコンポーネントが用意されています。